

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
 (仮称)山手西マンション計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)201  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>			<b>0.40</b>			<b>2.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>						<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.3</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50	
2 騒音対策			-		0.50	
1.2 遮音	T-2仕様のサッシを使用	<b>3.0</b>	0.50	<b>3.8</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.4</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.71	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 室温制御		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.29	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.3</b>
3.1 昼光利用	共用部:3.35(エントランス) 住居部:3.4(Bタイプ)	<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 グレア対策		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策	F☆☆☆☆の建材を使用している	<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.30	3.5	0.40	
1.2 心理性・快適性	居室の天井高さ2.5m以上	<b>3.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	評価方法基準で劣化対策等級3	<b>3.4</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			2.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.1	0.29	2.5	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり							
1 階高のゆとり					2.0	0.50	
2 空間の形状・自由さ					2.0	0.40	
3.2 荷量のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.1	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			2.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの交換利用		太陽光発電を一部採用。	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化			3.2	0.40			3.2
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		#VALUE!					
集合住宅の評価			3.2				
4 効率的運用							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.15			2.2
1.1 節水			1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00			
2 雑排水等利用システム導入の有無							
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63			3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.22			2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.68			
1 消火剤							
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止							
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.33			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			4.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		建物利用者のための適切な駐車場・自転車置き場を設置した。 ゴミ置き場にて分別収集を行う。	3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33			2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	0.33			
2 振動			3.0	0.33			
3 悪臭			3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40			
1 風害の抑制			1.0	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			1.6	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち光に透れる光への対策			1.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			